

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市文化施設（倉敷市芸文館・倉敷市大山名人記念館，倉敷市民会館，児島文化センター，玉島文化センター及び倉敷市文化交流会館）
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市美和1丁目13番33号 名称 公益財団法人 倉敷市文化振興財団 代表者 理事長 岡 荘一郎
(3) 公の施設の所管部署	文化産業局 文化観光部 文化振興課
(4) 評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は自主事業への取組み及び出勤簿・賃金台帳に重点を置いて検査を行った。</p> <p>自主事業への取組みについては、個々の施設の特性を生かし、子ども向け鑑賞事業，参加型ピアノ演奏，文化団体練習見学・体験会など，市民が文化に親しむ環境作りに努めている。また，出勤簿・賃金台帳については，適正に記帳・整備されていることが認められた。</p> <p>引き続き，文化芸術における人材育成や，市民・文化芸術団体の活動支援など，市民ニーズに的確に対応したサポート及び自主事業を実施するよう努めてほしい。</p>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>施設の管理運営にあたり，施設利用者へ常に安全・安心を提供できる施設であることをモットーに，法令遵守及び，施設・設備の不具合発見及び改善に日々努め，本年度も事故等の発生は0件でありました。</p> <p>また，ソフト面においては職員7名が「おもてなしマイスター」として認定され，美観地区をはじめ，文化施設を訪れる方々に対し，優しいおもてなしができる人材としてその能力を施設運営にも生かし，利用者に寄り添ったサービスを提供できました。</p> <p>施設の利用に関しては，令和2年2月下旬からの新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の拡大により，文化施設からのク</p>	

	<p>ラスター発生を何としても防がなければならなかったことから、3月には文化施設全館において施設利用者へ利用自粛を要請し、自主事業も全て中止といたしました。</p> <p>収入は下がることとなりましたが、これは当然の処置であると考えます。</p> <p>まだ新型コロナウイルス感染症の先行きが見えませんが、今後も倉敷市と協力し、施設運営を行ってまいります。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>管理運営については、各施設とも老朽化が進み、設備や備品の改修等を望む声が多く寄せられているが、全体的には「施設の状況」も「満足・ほぼ満足の割合」が89%以上あり、利用者の細かな要望にも適切に対応できている結果と判断できる。また、「全体の満足度」が5施設全体で「満足・ほぼ満足の割合」が95%を超えており、「職員の対応」、「講座・イベント」においては、各施設とも90%以上と良い評価を得られている。</p>

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	文化施設ホールの利用率 (%)				
	施設名		利用率 (%)		
			R元	H30	H29
	市民会館	ホール	72.6	78.9	72.2
	芸文館	ホール	76.8	79.3	75.9
	芸文館	アイシアター	61.8	70.5	68.3
	児島文化センター	ホール	26.7	29.5	27.3
	玉島文化センター	ホール	37.6	41.3	46.0
	文化施設全館の利用者数 (人)				
	施設名		利用者数 (人)		
			R元	H30	H29
	市民会館		244,159	296,862	273,832
芸文館		125,342	99,172	140,105	
児島文化センター		34,249	37,179	38,875	
玉島文化センター		47,043	57,181	63,340	
文化交流会館		64,752	66,139	66,510	
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業 ・ 施設の利用申請の受付・許可 ・ 利用料金の収受 ・ 施設の維持管理 				

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	399,329千円
	市からの指定管理料(委託料)	243,948千円
	利用料金	148,381千円
	その他の収入	7,000千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	397,321千円
	主な支出	
	人件費	120,540千円
	光熱水費	73,646千円
	修繕料	9,452千円
	施設管理委託費	173,525千円
	事務費	9,560千円
	租税公課費	10,588千円
減価償却費	10千円	